

# 令和4年1月27日会議概要

## 第1 日時

令和4年1月27日（木）午前9時20分から午後1時35分までの間

## 第2 出席者

森委員長、平林委員、長谷委員、森田委員、増田委員

警察本部長、総務部次長、警務部長、生活安全部長、地域部長、刑事部長、交通部長、警備部長、警察学校長、京都市警察部長、情報通信部長等

《書記 公安委員会補佐室長、公安委員会補佐室室長補佐》

## 第3 議事の概要

### 1 委員報告

#### 京都府警察大震災訓練視察（1月17日）

委員から、「1月17日、京都府警察大震災訓練を視察した。訓練の規模は、コロナ感染対策の観点から例年より縮小されたものの、土砂災害訓練、高所救助訓練、低所訓練等を視察した。広域緊急援助隊の過去の出動経験と平素の訓練で培われた実力を目の当たりにすることができた。特に今回は、指揮本部が現場の状況を迅速に把握・情報共有するための映像伝達システムを使用した訓練も実施され、機能の充実が図られていた。継続した訓練による救助スキルの向上、装備資機材を含めた更なる機能の向上に努めてもらいたい。」旨の報告があった。

他の委員から、「今後、想定外の災害も起こり得ると思われることから、慎重で十分な対応をお願いしたい。」旨の発言があった。

### 2 議題

#### (1) 令和3年度府費警察費2月補正予算案（経済対策）について

総務部次長から、令和3年度府費警察費2月補正予算案について報告があった。

#### (2) 令和4年度府費警察費当初予算案の概要について

総務部次長から、令和4年度府費警察費当初予算案の概要について報告があった。

委員から、「令和4年度は退職者が少ないのか。また、定年延長にはかからないのか。」旨の質問があり、総務部次長から、「退職者は少ない見込みである。定年延長は再来年からとなる。」旨の回答があった。

同委員から、「宇治警察署の完成はいつか。」旨の質問があり、総務部次長から、「令和8年の予定である。」旨の回答があった。

#### (3) 令和3年中の犯罪情勢について（暫定値）

生活安全部長から、令和3年中の刑法犯認知件数や府下重点抑止犯罪の認知状況等の犯罪情勢について、また、刑事部長から、刑法犯検挙件数や検挙率等について報告があった。

委員から、「このまま推移すれば、年間の刑法犯認知件数は、1万件を切るようになるのか。」旨の発言があり、生活安全部長から、「今後、コロナ感染者が減少に転じれば、人流も増加することから、刑法犯認知件数も増加すると思われる。コロナ前の刑法犯認知件数と現在の件数を比較して、減少した要因を分析・検証し、その上で対策を講じ、人流が増

加した時にそれが有効な対策であったかなどについて検討していきたい。」旨の回答があった。

他の委員から、「自動車盗の減少理由は何か。」旨の質問があり、生活安全部長から、「コロナの感染拡大により、公共交通機関の利用を控え、これまで駐車状態であった自動車を利用する機会が増えたことも要因にあると思われる。」旨の回答があった。

#### (4) 再発防止命令の実施について

刑事部長から、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律に基づき、再発防止命令を実施することについて説明があり、審議の上、決定した。

#### (5) 令和3年中の特殊詐欺情勢について（暫定値）

刑事部長から、令和3年中の特殊詐欺事件の被害認知状況及び検挙、水際阻止事例等について報告があった。

委員から、「他県でA Iが通話内容の解析を行い、詐欺の可能性があると判断したことを端緒に、被疑者の逮捕に繋がったという報道を聞知したが、そのような機器は京都にあるのか。」旨の質問があり、生活安全部長から、「当府警も関係団体と連携し、補助事業で防犯機能付電話機の普及促進を行っている。しかし、A Iが搭載され、家族等に自動配信するようなシステムではない。」旨、刑事部長から、「現在、当府警では企業と連携してA Iの活用を研究している。」旨の回答があった。

他の委員から、「長期的には、特殊詐欺の認知・検挙件数の傾向はどうか。」旨の質問があり、刑事部長から、「ピーク時に比べればやや減少傾向にあるが、高水準で推移している。」旨の回答があった。

他の委員から、「暴力団検挙人員の増加理由は何か。」旨の質問があり、刑事部長から、「特殊詐欺グループの背後には暴力団の存在があり、捜査によりその実態が解明され検挙に繋がったことから、暴力団検挙人員が増加している。」旨の回答があった。

他の委員から、「家族・友人・一般人の水際阻止件数が減少しているのので、家族等への広報啓発も引き続きお願いしたい。」旨の発言があった。

#### (6) 令和3年中の京都府内の交通事故発生状況について

交通部長から、令和3年中の京都府内の交通事故発生状況、地域別・時間帯別等の死亡事故の発生状況等について報告があった。

委員から、「死者の男女別は、どのようになっているのか。」旨の質問があり、交通部長から、「死者数51人の内訳は、男性34人、女性17人である。」旨の回答があった。

#### (7) 交通事故遺族からの寄附の申し入れについて

交通部長から、交通事故遺族より電柱幕 3,000枚の寄附の申し入れがあったことについて報告があった。

委員から、「寄附していただいた御遺族への感謝の気持ちを何か表せればと思う。」旨の発言があり、交通部長から、「関係機関と連携を図りながら、御遺族に子供たちの感想を届けるという取組等を検討している。」旨の回答があった。

#### (8) 公安条例の許可状況について（12月申請分）

警備部長から、令和3年12月中に申請が許可された「集会、集団行進及び集団示威運動に関する条例」に基づく、集会、デモの状況について報告があった。

**(9) 沖縄県警察に対する京都府警察職員の特別派遣について**

警備部長から、警察法第60条第1項に基づく沖縄県公安委員会からの援助の要求について報告があった。

委員から、「派遣職員がコロナ感染することがないように、感染防止対策を徹底されたい。」旨の発言があった。

**(10) 初任科第 259期（長期課程）卒業式の実施について**

警察学校長から、令和4年1月28日、京都府警察学校において実施される初任科第 259期卒業式の実施概要、参加者、入校中の教養状況等について報告があった。

**(11) 追加報告**

**ア 職員のコロナ感染状況について**

警務部長から、前回報告以降の京都府警察職員のコロナ感染状況について報告があった。

**イ 私電磁的記録不正作出・同供用等事件の検挙について**

生活安全部長から、サイバー犯罪対策課及び伏見警察署は、令和4年1月18日、スマートフォン向け人気ゲームのデータを改ざんして販売したなどとして、男女5人を私電磁的記録不正作出・同供用等事件で書類送検したことについて報告があった。

**ウ 不正競争防止法違反等事件の検挙について**

生活安全部長から、生活保安課は、令和4年1月19日、元勤務先の税理士事務所から顧客情報を不正に持ち出したとして、男女2人を不正競争防止法違反等事件で検挙したことについて報告があった。

**(12) 監察案件 1 件**

首席監察官から、監察案件 1 件について報告があった。

**(13) 本部長総括**

本部長から、「減少傾向にある犯罪情勢、交通事故については、コロナの影響が少なからずあると判断される。今後、コロナが終息に向かえば、これら件数の増加が懸念されるので、十分警戒してまいりたい。」旨の発言があった。

**3 個別報告**

**当面の行事予定等について**

公安委員会補佐室長から、次回の公安委員会定例会議及び出席予定行事等について報告があった。

**4 個別決裁**

**(1) 人事案件について**

警務部長から、人事案件について説明があり、審議の上、了承した。

**(2) 公安委員会宛て苦情等申出について（処理 2 件）**

公安委員会補佐室室長補佐から、公安委員会宛ての苦情等申出に関して、処理 2 件について調査結果及び通知案の説明があり、審議の上、通知内容を決定した。

## 5 聴聞

### (1) 運転免許関係行政処分について

交通部聴聞官から、道路交通法の規定に基づく運転免許の行政処分に係る聴聞、意見聴取の結果について説明があり、27件の行政処分を審議した。

### (2) 風俗営業関係行政処分について

公安委員会による風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律違反（1件1人）に対する直接聴聞（当事者欠席）を実施し、審議の上、行政処分を決定した。